



大屋富士

伸びよ 豊かに たくましく

令和7年4月14日
養父市立大屋中学校
学校だより 第1号
Tel 079-669-0111

令和7年度大屋中学校がスタートしました。大屋の郷を彩る桜が見事に咲き誇り、生徒たちの門出を祝福してくれているようです。

本年度、大屋中学校2年目となりました山下雅史です。「伸びよ豊かにたくましく」の学校教育目標のもと、保護者の皆さま、地域の皆さまと温かなつながりを大切にしながら、生徒たちの豊かな心と体の成長に職員一丸となって取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新年度、始業式では新2年生、新3年生が体育館でしずかに整列し、ピリッとした空気がそこにありました。新年度への気持ちの入れようが伝わってきてとてもうれしく思いました。その姿に始業式の式辞の中で「期待しかない」と生徒たちに伝えました。



入学式

満開の桜のもと、4月8日（火）20名の新入生を迎え、大屋中学校入学式を無事に挙行することができました。期待と不安を胸に登校してきた新入生の表情は、希望に満ちていました。

入学式の式辞（一部抜粋）

～前略～この三年間、皆さんに是非大切にしてほしいことがあります。一つ目は挑戦と忍耐です。「できるかどうか分からない」「失敗したらどうしよう」と思うことは多くあるでしょう。でも、できるかどうか分からないことに挑むことが、成長に繋がるのです。そして壁にぶち当たっても、簡単に諦めずにぐっとこらえて続けていく忍耐力を身に付けてください。大きな夢や目標は、便利にすぐに手に入るものではありません。すこしでも我慢強く一歩ずつ進んでいけば必ず道は開けます。二つめは「人と繋がる力」です。十人十色と言って世の中にはいろんな考え方の人がおり、いろんな思いがあります。人と繋がることは時に傷つき、時に悩み、めんどくさいと思うこともあるでしょう。でも異なる意見を吸収していく中に人としての成長があります。中学校生活でいろんな人と協力し、ぶつかり合い、支え合う中で、人間力を高めていってほしいと思います。そして最後に、皆さんには「小さな感動の積み重ね」を大切にしてほしいと思います。部活動や学校行事で頑張った後の充実感、授業で「なるほど」と新しい知識を知った瞬間、昨日できなかったことが今日できたことの喜び、誰かの力になれたときの温かさ。ちょっとした日々の小さな出来事の一つ一つが皆さんの心の中の栄養となり、皆さんの心を育ててくれるはずです。大切なのは、日々の中で心が動く瞬間を大切にすることなのです。皆さんの中学校生活が、たくさんの小さな感動に満ちたものとなることを願っています。～後略～

